



業務前自動点呼の始め方 - 導入の準備からメリットまでの完全ガイド

【記事の要点3つ】

- ✓ 業務前自動点呼は 2025 年 8 月から本格スタートし、運送業の点呼を国交省認定機器による自動化で効率化・法令遵守・安全性向上を同時に実現できる新制度。
- ✓ 導入メリットは「運行管理者の負担軽減」「チェック漏れ・法令違反の防止」「業務効率化」「健康起因事故防止」「非接触・感染症対策」など多数。
- ✓ 導入には、認定機器・施設環境・運用体制の 3 要件が必要で、準備や申請・従業員研修を含め 3～4 か月程度かかるため、早めの準備・検討が重要。

2025 年 8 月より本格運用が始まる「業務前自動点呼」は、運送業界における点呼作業を国土交通省認定の自動機器で行う仕組みです。従来の対面点呼と同等の法的効力を持ち、顔認証・アルコールチェック・バイタル測定・車両点検・指示確認などを一括自動化します。

主な導入メリットは、運行管理者の業務負担やシフト調整の悩みを大幅に軽減し、チェック漏れ・記録忘れの防止や監査対応の強化、業務効率化（ペーパーレス化・DX 化）、健康起因事故の未然防止、そして非接触による感染症リスク低減です。

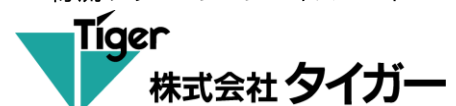
一方、導入には国交省認定機器の選定・安定した通信環境・異常時に切替可能な運用体制など、3 つの基礎要件が必要です。また、届出や従業員教育・試験運用などのプロセスを含めると、導入完了までに最短でも 3～4 か月ほどかかります。補助金制度の活用や先行導入の利点もあり、今からの準備が将来の安心と効率化につながるとまとめられています。

元の記事を読む



株式会社タイガー
東京都千代田区神田猿樂町 2-1-14 A&X ビル 2F
<https://www.tiger-inc.co.jp/>
03-5283-7232

物流ソリューションエキスパート



本要約は上部に記載の日付に作成しております。内容について最新のものとない可能性があるので予めご了承ください。